



### 変えるもの・守るもの

三浦 かな

空港から市街地に向かうバスからの景色に驚いた。札幌にあるビルよりも高くスタイリッシュな建物がたち並ぶバンコク。私の想像していたタイはゾウが町中において、人々は昔ながらの暮らしを営んでいるというものだった。ここは本当に途上国なの？そう思った。しかし、数日過ごしてみるとタイはまだ改善が必要なのがあると気がついた。そこから数百メートル進んだだけで見えてきたスラム街。市場や船で働く私と同じくらいの子ども。

タイが発展していくのは、タイの人にとっても世界にとってもいいことだ。それを JICA が支えていることを頼もしく思う。だけど、変わってほしくないタイもある。その一つがタイのひとびとの穏やかさだ。私は、タイの列車に時刻表がないことに驚いた。少しの遅れならみんな気にしないのだそう。研修中どこへ行っても、みんなニコニコ笑顔で迎えてくれた。バディは、頑張って慣れない日本語と英語を使い、優しい笑顔で私を安心させてくれた。いい意味での「ゆるさ」がタイにはあった。穏やかに生きるという意味を知った。

この研修で、良い面、悪い面様々なタイの顔が見えた。タイに行って、ものごとを様々な角度から見るできるようになった。バディと仲良くなって世界が身近になった。私は、その土地の良いところを守りながら世界をもっと良くしていく人になりたい。